

2023年度 TO及び攻撃の方向変更点

- ・操作盤一体型の卓上スコアボードをスコアラーステーブル上に置いて使用する場合は、例外としてチームAを右に、チームBを左に表示します。
- ・試合開始前の練習・アップは自チームのベンチ前
- ・ハーフタイムの練習・アップは相手チームのベンチ前
- ・攻撃するコートは、1Q・2Qは自チームベンチ前のコート、3Q・4Qは相手チームベンチ側のコート

TO サイド



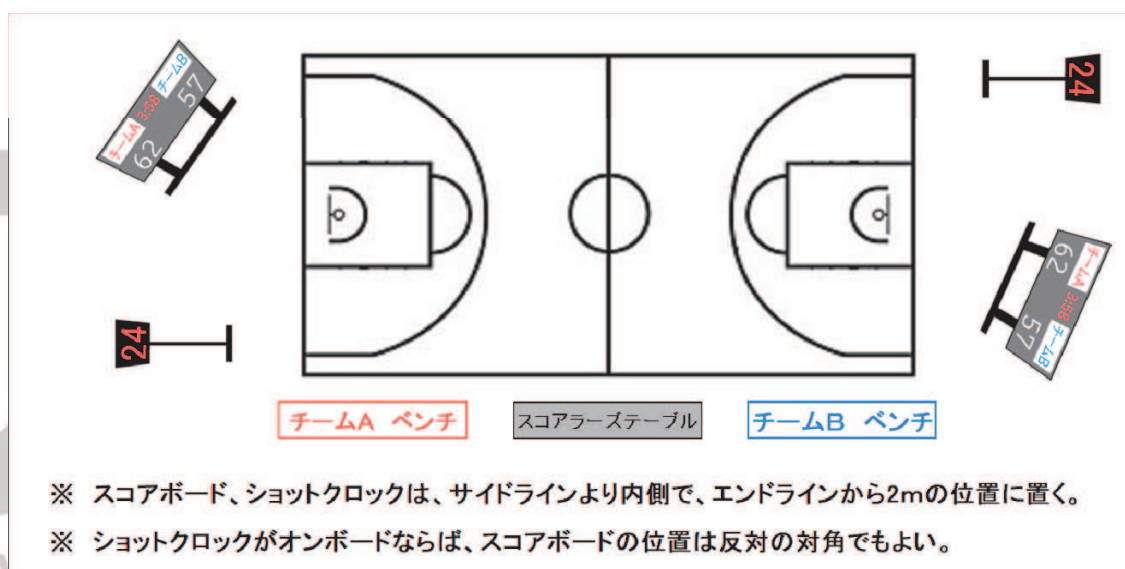
オポジットサイド



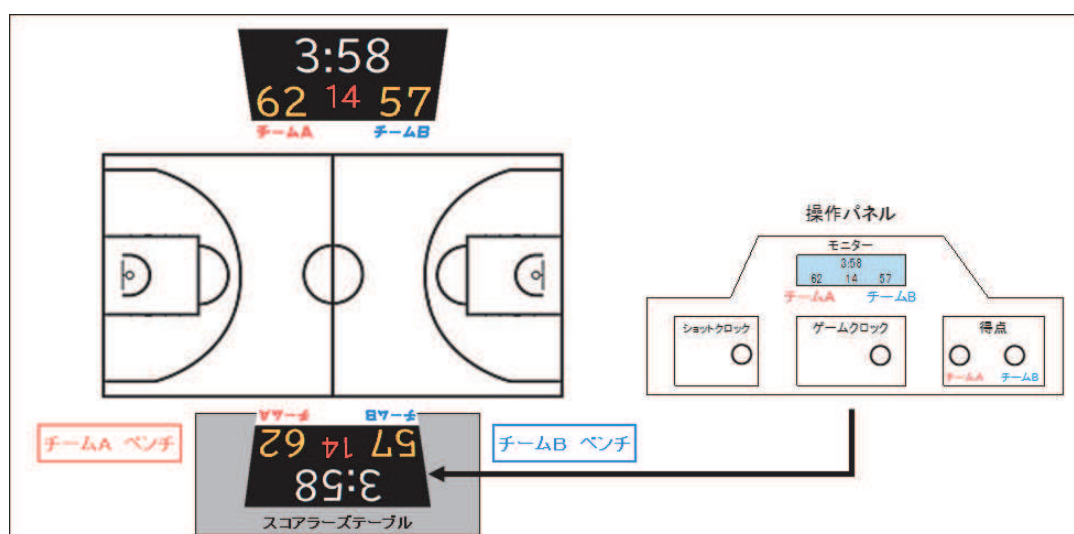
スコアボードの設置方法と運用について

- (1) **床置き型スコアボード**を使用する場合、2 台をコートの対角上に配置し、どちらのスコアボードも、**チームAを左に、チームBを右に表示**します。鏡合わせ表示はしません。(図①)
- (2) **操作盤一体型の卓上スコアボード**をスコアラーステーブル上に置いて使用する場合は、**例外としてチームAを右に、チームBを左に表示**します。ただし、オポジットサイドのスコアボードは、チームAを左に、チームBを右に表示（鏡合わせ表示）します。入力ボタンと手元のモニターも「左：チームA、右：チームB」となります。(図②)
- (3) 卓上スコアボード1 台で行う場合は、オポジットサイドにめくり式得点板を置きます。(図③)
- (4) いずれの場合も、得点の表示方向はゲームを通じて固定されます。**前・後半での入れ替えは行いません。**

〔図①〕 床置き型スコアボードの設置例



〔図②〕 操作盤一体型の卓上スコアボードの設置例



〔図③〕 めくり式得点板



〔注意〕

- (1) 操作盤一体型の卓上スコアボードを使用する場合、得点入力タイマーが行います。ただし、**タイマーは得点入力よりもクロックの操作（スタート／ストップ）を優先して行います。**（第4Q、OTの残り2分の得点の後のストップなど。）
- (2) アシスタントスコアラーは、スコアボードの得点が正しく加点されていることを確認するために、得点のたびにオポジットサイドのスコアボードを見て「62 対 57！」のようにコールしてスコアラーに伝えます。**コールは、前・後半にかかわらず常にチームA⇒チームBの順番です。得点入力をタイマーが行う場合もアシスタントスコアラーがコールします。**

★ ここがポイント！

- 「チームAを左に、チームBを右に」という表示順は、スコアシートのランニングスコアの並びと同じです。
- スコアボードの表示順、入力ボタンの位置、コールの順番をランニングスコアの並びに合わせて統一化することにより、得点の入力及び確認を迅速かつ正確に行うことができます。

〔2023年4月1日〕